

運動公園における主要施設の状況

浦添運動公園には以下のような施設が整備されており、多様な運動施設が整備されています。



【基本計画に求められる諸課題の整理】

(1) ハンドボールを含め、多様なスポーツ・イベントへの対応

- ・プロスポーツ興行やeスポーツなどの「みるスポーツ」への柔軟な対応 等

(2) 障がい者利用の推進

- ・障がい者スポーツの振興や、新市民体育館におけるハード面・ソフト面の対応検討

(3) 陸上競技場スタンドと新市民体育館との一体的整備による拠点機能の充実

- ・機能の一部共有化により、効果的・効率的な管理運営拠点機能としての充実 等

(4) 浦添市らしさの創出

- ・ハード面（地域素材の活用や意匠の工夫等）をはじめ、ソフト面も含めた検討

(5) 災害対応等の充実

- ・地域防災計画等の位置づけを踏まえ、必要な事項を満たす施設整備の検討

(6) 軍人・軍属を含めた国際交流の推進

- ・多言語表示や多様な交流機会の創出

(7) 地球環境への配慮の充実

- ・省エネルギー化及び市民への意識啓発

(8) コストセンターからプロフィットセンターへの転換の検討

- ・“なるべく予算をかけない運用” から、“収益を生み、維持管理の負担軽減”という考え方への転換

(9) 時間軸も意識した現市民体育館との役割分担の検討

- ・二つの拠点として役割分担を図りながら現市民体育館は可能な限り維持。

(10) 駐車場不足への対応方策の検討

- ・駐車場の確保検討(運動施設への駐車場の複合化、屋外駐車場の整備 等)
- ・シェアパーキング等の活用や登録促進、無断駐車への抑制に向けた駐車場の有料化の検討等。

公園地区全体の位置づけ

整備の目標像

- ・市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点である浦添運動公園の機能強化
- ・スポーツを通じた文化の創造・発信、地域の活力向上
- ・公園を訪れる人々との多様な交流

スポーツを通じた健康増進・文化創造・多様な交流の拠点となる公園内施設づくり

【求められる機能とその概要】

【目標像】

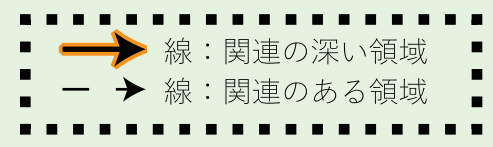
スポーツを通じた健康増進・文化創造・多様な交流の拠点となる公園内施設づくり

【基本方針】

基本方針①
市民のスポーツ活動や健康づくりの拠点となる公園の整備

基本方針②
トップレベルのスポーツ、「観る」スポーツに対応できる施設の整備

基本方針③
管理コスト等に配慮した施設整備及び管理の実施



○競技機能・観覧機能
・各種公式大会やプロスポーツ等を含めた「する」スポーツと、市民等の「観る」スポーツに対応した中心機能

○生涯スポーツ・レクリエーション機能
・市民等の生涯スポーツ・レクリエーション活動の充実に資する機能
・各種スポーツ大会や多彩なイベント等の開催により、広域的な交流を促進する機能

○その他求められる機能
＜便益機能・文化機能＞
・多様な利用者層の利便性・快適性向上を図る機能
・スポーツ文化の醸成・発信機能
＜管理・運営機能＞
・運動公園を適切に管理・運営していくための機能
・スポーツ・レクリエーション関連の人材育成・情報発信等の機能
＜環境配慮・防災機能＞
・環境配慮・景観形成機能
・広域防災拠点についての機能 等

導入機能と対応施設の検討

新市民体育館	新規整備	市民のスポーツ・レクリエーションニーズへの対応や「みる」スポーツ機能の充実を図るため、新市民体育館の新規整備により、現市民体育館との役割分担を図ります。
陸上競技場スタンド	再整備 (新市民体育館との一体的整備)	老朽化がみられる陸上競技場スタンド（階下の諸室機能含む）について、新市民体育館との一体化による再整備を図ります。
市民相撲場	移転整備	新市民体育館を陸上競技場スタンドと一体的に整備することで現位置の相撲場の維持が難しくなることから、移転・再配置を行います。
駐車場	拡充	現状でも駐車場が不足しており、新市民体育館の整備による駐車場ニーズの増加に対応するため、一定量の確保を検討します。

- ・各種スポーツ施設・公園としてのレクリエーション機能は維持し、土地利用の改変は最小限に留めます。
- ・特に成長した樹林地や樹木などの緑地空間は可能な限り保全し、やむを得ず伐採等を行う場合は移植等を検討します。
- ・新規施設の整備には、公園の地形（傾斜）を活用した立体的な検討も行います。
- ・施設配置のみならず、その施設へのアクセスや施設間の連携にも配慮します。

The site plan illustrates the layout of the Utsunomiya Sports Complex. Key features include:

- Proposed Facilities:**
 - 新市民体育館 (New Municipal Gymnasium):** Indicated by a pink rectangle with red dots.
 - 相撲場 (Sumo Ring):** Indicated by a pink rectangle with blue dots.
 - 障がい者用駐車場 (Disabled Persons Parking Lot):** Indicated by a grey rectangle with black dashed lines.
- Existing Facilities:**
 - 現市民体育館・陸上競技場 (Existing Municipal Gymnasium / Track and Field Stadium):** Indicated by a yellow rectangle.
- Parking and Access:**
 - 駐車場 (Parking Lot):** Indicated by a grey rectangle.
 - バス入口 (Bus Entrance):** Marked with a red arrow on the left side.
 - 正面入口 (Main Entrance):** Marked with a red arrow on the right side.
 - 駐車場入口 (Parking Entrance):** Marked with a red arrow at the bottom right.
 - 関係者入口 (Staff Entrance):** Marked with a red arrow at the top right.
- Other Labels:**
 - 浦添市多目的屋内運動場 (Utsunomiya City Multipurpose Indoor Sports Hall)
 - 浦添市温水プール まじゅらんらんど (Utsunomiya City Warm Water Pool Majurand)
 - 浦添市陸上競技場 (Utsunomiya City Track and Field Stadium)
 - 浦添市民体育館 浦添市武道場 (Utsunomiya City Gymnasium Utsunomiya City Budo Hall)

Legend:

- 新市民体育館 (New Municipal Gymnasium)
- 相撲場 (Sumo Ring)
- 障がい者用駐車場 (Disabled Persons Parking Lot)
- 駐車場 (Parking Lot)
- ※将来的に現体育館建替えの際などに整備を検討 (To be improved when the existing gymnasium is replaced in the future, etc.)
- 現市民体育館・陸上競技場 (Existing Municipal Gymnasium / Track and Field Stadium)

- ・駐車場への新たな車両動線については、バスの通行も可能な幅員で整備を行います。
- ・新たな駐車場から、安全・快適に移動できるよう、歩行者動線を必要に応じて整備します。
- ・公園エントランスの位置（3カ所）は、できる限り変更を行わないよう配慮します。
- ・主要な動線はバリアフリー化を図り、勾配や幅員、舗装等にも配慮します。
- ・災害時の緊急車両等の進入も考慮します。

▲立体駐車場の壁面緑化
(参考：沖縄記念公園海洋博覧会地区)

個別施設の整備計画

《スポーツ系施設全体の整備の方向性》

- 新市民体育館の新規整備
 - ・「する」スポーツだけではなく、「観る」スポーツの場を意識した施設整備
 - ・現市民体育館との役割分担
 - ・プロスポーツやトップリーグ等の開催・観戦ニーズに応えた機能整備
 - ・M I C E イベントやeスポーツ等のイベントへの対応
 - ・観客席やアリーナといった運動施設、トイレ等の便益施設のバリアフリー化
 - ・地形の高低差を利用した施設地下の障がい者専用駐車場整備
- 陸上競技場スタンドの再整備
 - ・スタンド下部の諸施設と新市民体育館との一体的な整備
 - ・再整備時には、従前の機能と同等程度の施設となるよう留意
 - ・現スタンド下部にある諸室と同様の内容を整備
- 市民相撲場の移転・再配置
 - ・従前の機能と同等程度の施設となるよう整備
 - ・観客席、補助土俵・更衣室等といった各機能について同様の内容を整備

《新市民体育館等の整備方針》

各種関係団体や庁内関係課からのヒアリング・ワークショップ・県内外体育施設の事例等を通して得られたニーズや意見を検討し、以下の方針をかかげます。

- ①二つの拠点機能の相互補完による多様な利用シーンへの対応
- ②競技スタンドと新市民体育館との一体化等による効果的・効率的な施設整備
- ③多様な屋内スポーツ・大会ニーズ等に対応できるアリーナ・観客席の整備
- ④誰にでもやさしい施設環境の整備
- ⑤災害時避難所としての機能の充実



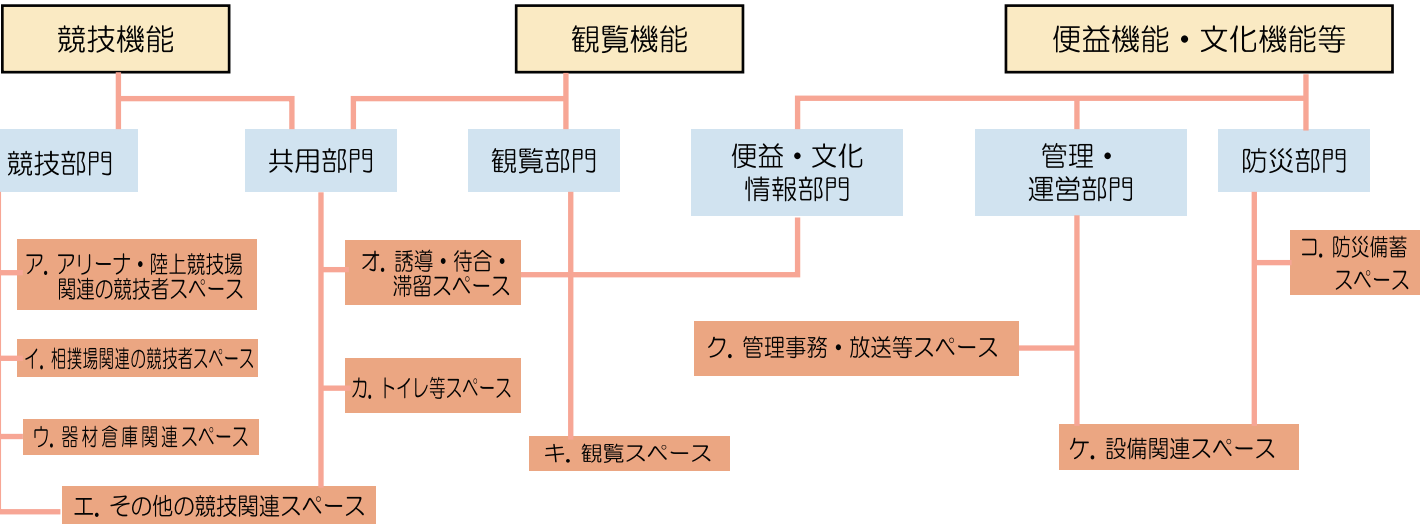
▲整備構想時の陸上競技スタンド側イメージパース



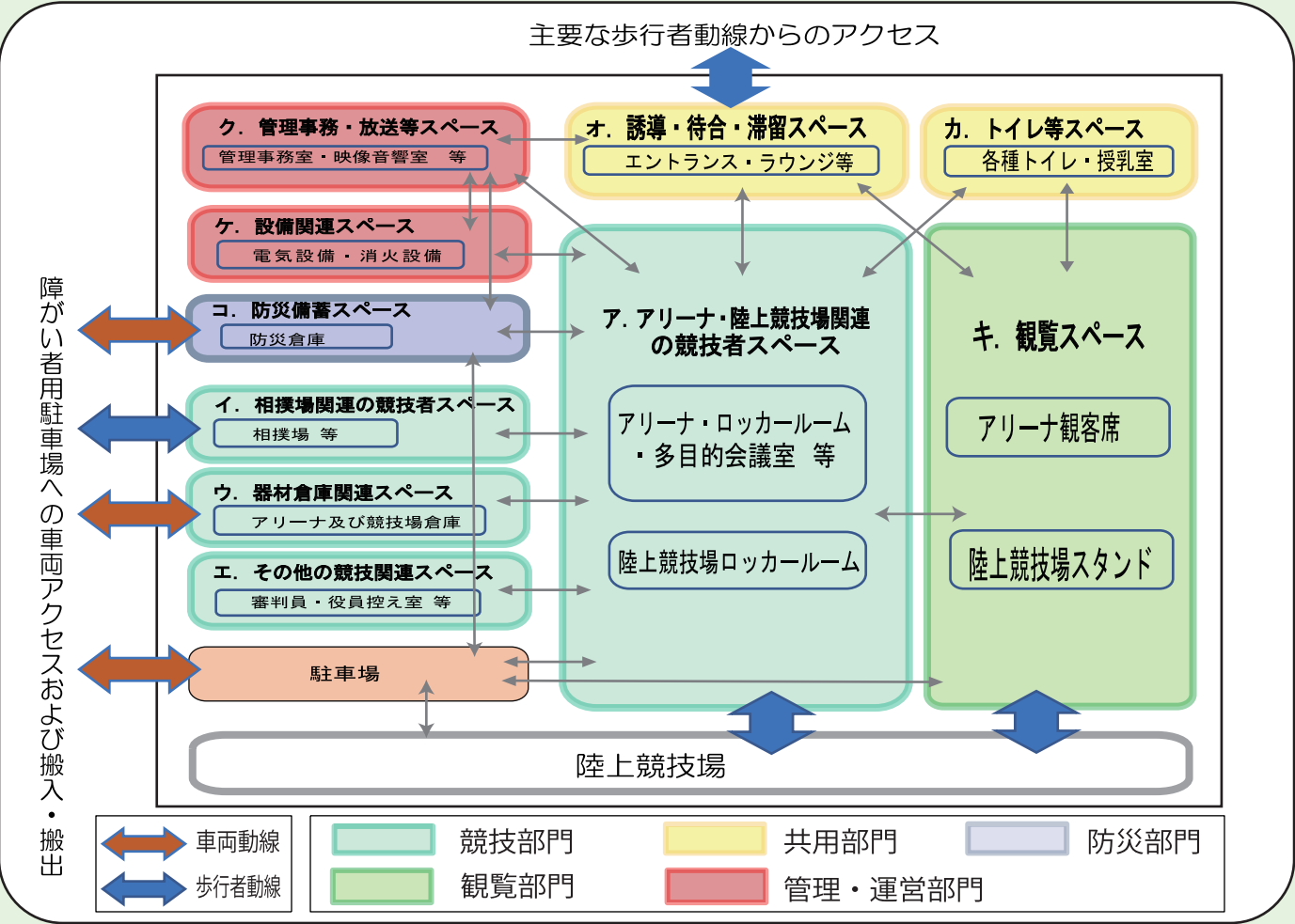
分かりやすい案内サインの例▶
(参考：沖縄県福祉のまちづくり
条例施設整備マニュアル【建築
物編】より)

新市民体育館に求められる機能と役割

新市民体育館が受け持つべき役割を踏まえ、部門ごとに必要な諸室を次の通り示す。



必要な施設と規模の想定



ア. アリーナ・陸上競技場関連の競技者スペース

- a. アリーナ：2,200 ～ 3,000 m²程度
- b. 多目的会議室：100 ～ 140 m²程度
- c. アリーナロッカールーム（シャワー室含む）：40 ～ 60 m²程度 × 2
- d. 陸上競技場ロッカールーム：150 ～ 200 m²程度 × 2
(現在の陸上競技諸室と同規模想定)
- e. 親子更衣室（障がい者更衣室）：6 ～ 10 m²



▲ロッカールーム
(参考：福岡市総合体育館)

イ. 相撲場関連の競技者スペース

- a. 相撲場：250 ～ 300 m²程度
- b. 相撲場諸室：100 ～ 150 m²程度

ウ. 器材倉庫関連スペース

- a. アリーナ器材倉庫：350 ～ 500 m²程度
- b. 陸上競技場器材倉庫：60 ～ 150 m² × 2

エ. その他の競技関連スペース

- a. アリーナ用役員控室：15 ～ 35 m²程度
- b. アリーナ用審判員控室：15 ～ 35 m²程度
- c. 陸上競技場職員待機所：100 ～ 150 m²程度
(現陸上競技場職員待機所と同規模程度)
- d. ボルダリングウォール：幅8 ～ 10m程度



▲トレーニングルーム内のボルダリングウォール
(参考：福岡市総合体育館)

オ. 誘導・待合・滞留スペース

- a. メインエントランスホール：80 ～ 150 m²程度
- b. ラウンジスペース：200 ～ 300 m²程度
- c. キッズルーム：80 ～ 120 m²程度
- d. エレベーター：かごの床面積 1.83 m²（1.4m×1.35m）以上



◀キッズルーム
（参考：福岡市総合体育館）



▲ラウンジスペース
（参考：沖縄市体育館）

カ. トイレ等スペース

- a. アリーナ用一般トイレ
 - ：2階相当：男性用約 20 ～ 35 m²／女性用約 25 ～ 40 m²（各2か所）
 - 1階相当：男性用約 15 ～ 25 m²／女性用約 25 ～ 35 m²（各2か所）
- b. 陸上競技場一般トイレ
 - ：地下2階男性用約 16 m²程度／女性用約 18 m²程度（各2か所）
 - 陸上競技場スタンド席男性用約 8 m²程度／女性用約 8 m²程度（各2か所）
- c. みんなのトイレ
 - ：5 m²以上（アリーナ用3か所程、陸上競技場用2か所程）
- d. 授乳室：約 9 m²（県条例や県内外他体育施設を参考に想定）



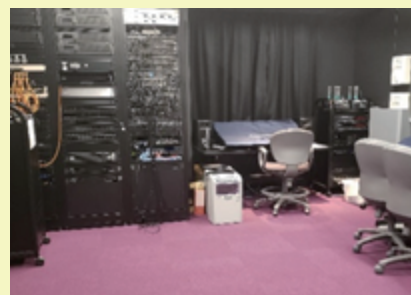
▲授乳室例
（参考：沖縄県福祉のまちづくり条例
施設整備マニュアル【建築物編】より）

キ. 観覧スペース

- a. 観客席：3,000 名程度収容（貴賓席・車いす観覧席・親子観覧スペース等含む）
- b. 陸上競技場メインスタンド観客席：1,800 名程度収容（現陸上競技場メインスタンドと同程）

ク. 管理事務・放送等スペース

- a. 管理事務室：95 ～ 165 m²
（事務室 70 ～ 125 m²、応接室 10 ～ 20 m²、倉庫 15 ～ 20 m²）
- b. 宿直室（兼職員休憩室）：10 ～ 20 m²程度
- c. アリーナ照明・映像音響室：15 ～ 25 m²程度
- d. 陸上競技場放送室：15 ～ 25 m²程度
- e. スポーツ関連団体事務室：60 ～ 70 m²程度
- f. 医務室：15 ～ 20 m²程度



▲放送室
（参考：福岡市総合体育館）

ケ. 設備関連スペース

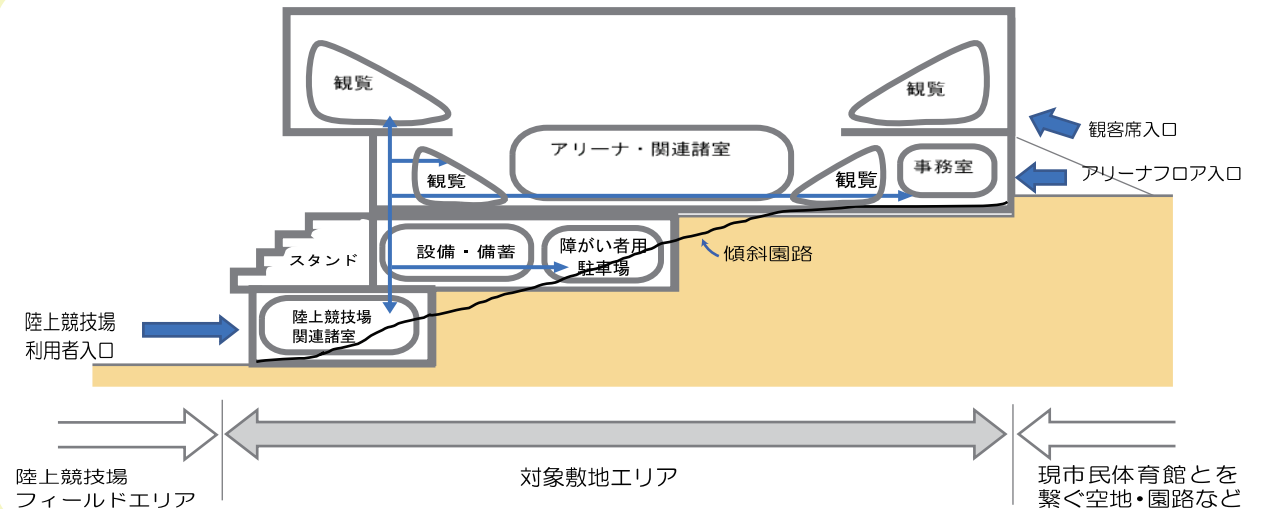
電気室・空調設備室・ポンプ室・自家発電室
・消防設備室 等

コ. 防災備蓄スペース

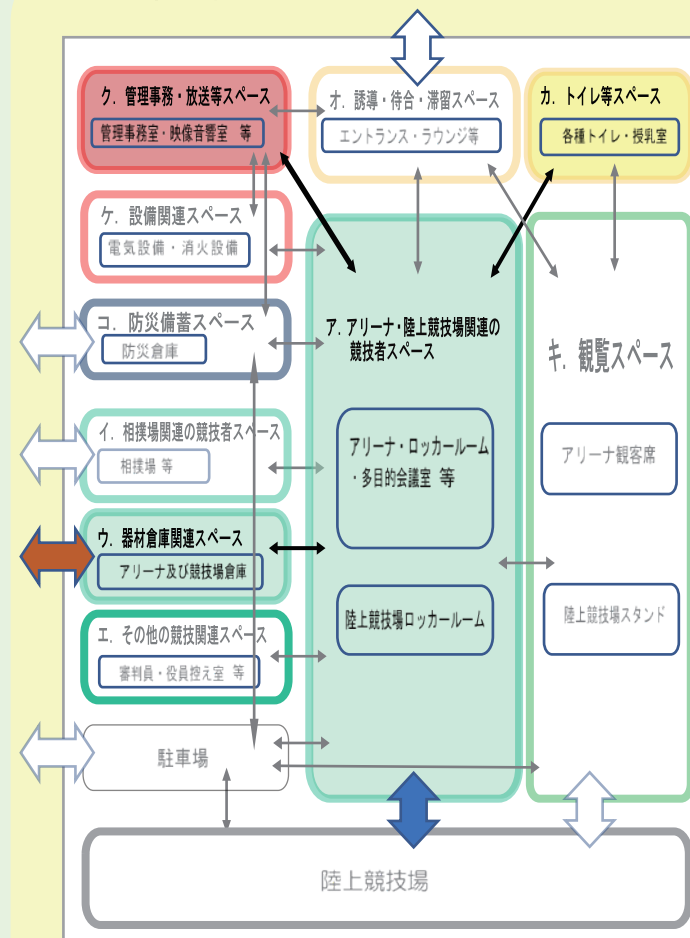
防災備蓄倉庫：100 m²以上

施設配置の考え方

- ・限定的かつ傾斜地となっている敷地内での、土地の高低差を活かした階層配置
- ・陸上競技場と接する最下層には陸上競技関連の諸室、その上部層は陸上競技場スタンドとの一体的整備
- ・地下1階相当は障がい者用駐車場の他、設備関連機器・備蓄品の搬入がし易いように同じ階層へ整備
- ・アリーナフロア、管理事務室等は現市民体育館との連携を図りやすいよう1階相当に配置。上部層へ観客席

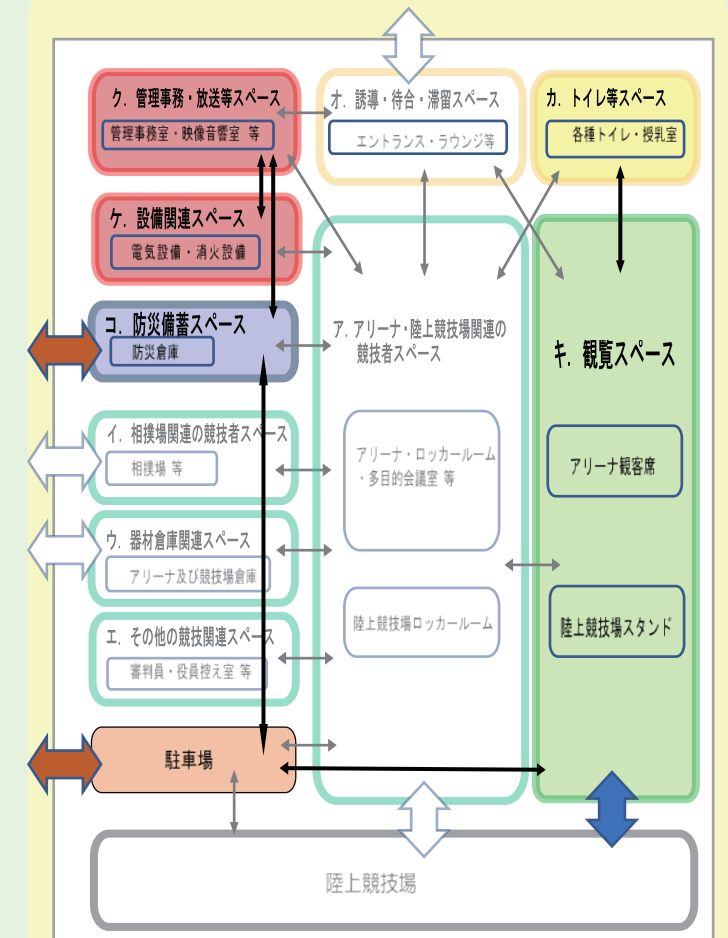


■地下2階相当の各部門関係性



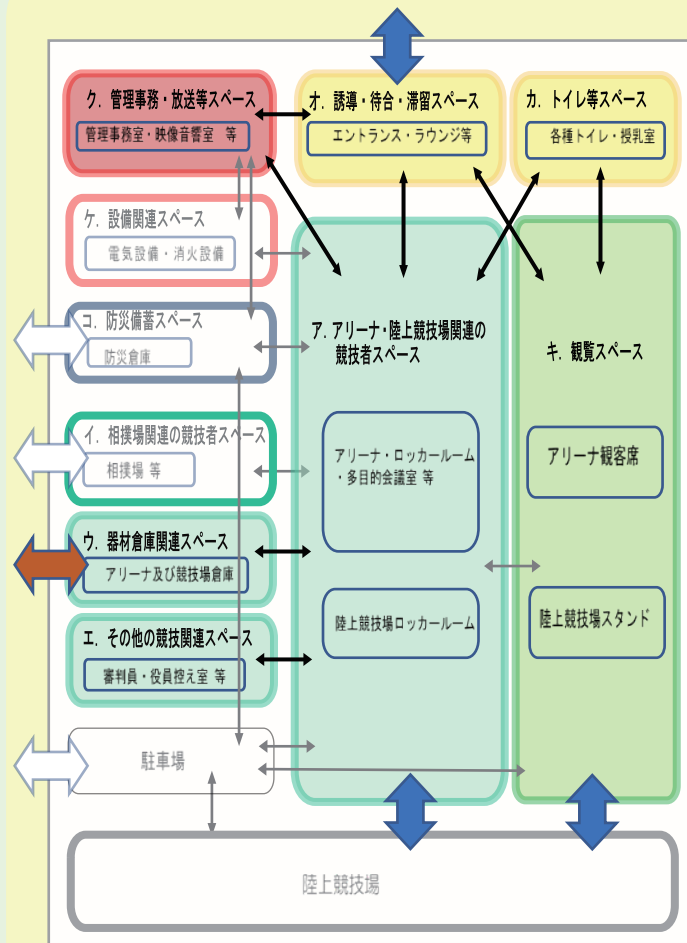
- ・陸上競技場スタンドの下層にあたるため、陸上関連の施設を整備し、フィールドと一体的な利用を想定
- ・具体的な陸上競技用のロッカールームや放送室、器具倉庫などの整備を検討

■地下1階相当の各部門関係性



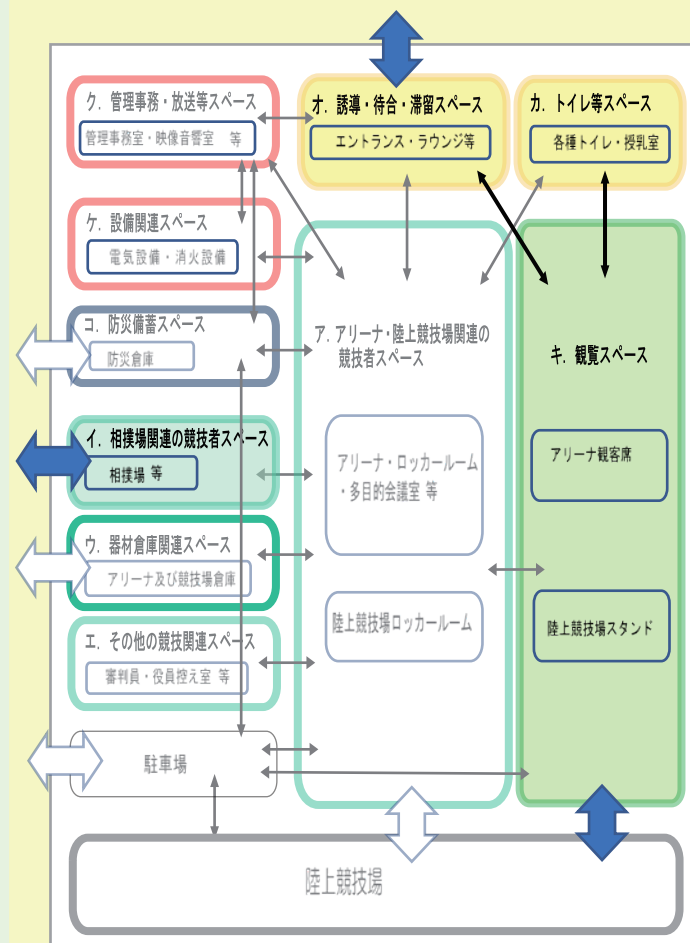
- ・この階層には、陸上競技場スタンド、電気設備、空調関係設備、備蓄倉庫等が整備
- ・障がい者用駐車場の整備も検討し、各階に障がいを持つ方がアクセスしやすいよう配慮

■ 1 階相当の各部門関係性



- ・一般利用者の主要な入口となる階層
- ・アリーナ関連機能として、ロッカールーム、役員等控室、医務室、器材倉庫等も整備
- ・競技の進行を見つつ照明・音響等の器材操作が行えるよう、アリーナを見渡せる位置へ照明・映像音響室を整備

■ 2 階相当の各部門関係性



- ・「みる」機能が主要な階層であり、固定席が配置。プロコースの試合等では直接外からアクセスできるよう整備を検討
- ・ラウンジでは、チケットもぎりやグッズ販売スペース、休憩所としての活用が想定
- ・相撲場競技部門として相撲場、関連設備の設置も検討

軍人・軍属との交流について

新たな価値観と出会いを創出するスポーツ交流・文化交流の推進

- ・スポーツは異なる価値観や背景を持つ人々とも交流を生むことができる機能を有しています。軍人・軍属とのスポーツ交流にあたっては、日常的なスポーツ交流の機会を積極的に創出していくことが重要です
- ・一方で、基地内には既に充実したスポーツ施設が整備されていることから、新市民体育館には“基地内でも体験できないスポーツ普及の場”としての役割が望まれています
- ・基地内でも人気の高いeスポーツなどは、市民をはじめ県内外とも多様な交流をはぐくむことのできる可能性を持っています



国内外の多様なスポーツ文化の発信

- ・元は認知度の高くないスポーツであっても魅力や背景などを知ることによって楽しむ切っ掛けを得ることができます
- ・新体育館ではスポーツ文化発信コーナーを設けることで、日本では未だ知られていないスポーツの情報や魅力を発信し、市民と軍人・軍属との交流機会につなげていきます
- ・武道等は軍人・軍属へも人気が高いことから、新市民体育館に併設されている相撲場や現市民体育館の武道場を体験の場として活用することで、新たな武道交流を図っていきます



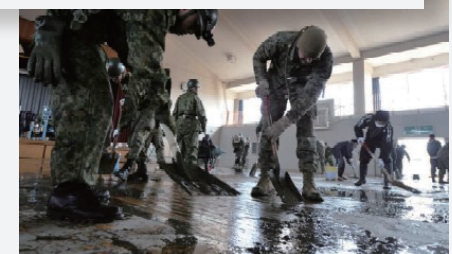
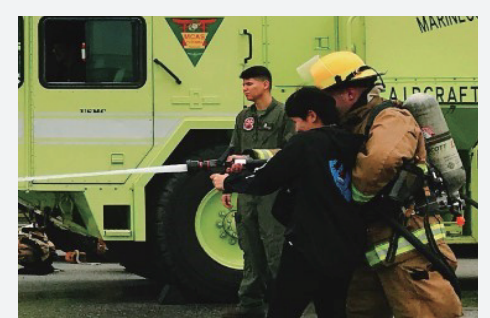
事業スケジュール

新市民体育館等の整備に向け、基本・実施設計及び施工期間のスケジュールを示します

	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目
調整事務等	●					
景観審への対応	●					
用地測量等	●					
基本設計	●	●				
収支計画	●	●				
各種申請等	●	●	●			
実施設計			●	●		
解体				●		
施工					●	●
管理・運営					●	●

災害対応における連携の推進

- ・近年の大規模自然災害や海に囲まれた沖縄の津波災害への危険性に対応するためには、軍人・軍属の貴重な災害救助体験等を活かした共同防災訓練などの実施も必要となります
- ・市内の米軍基地は海岸低地部に位置し、多くの軍人・軍属が居住・勤務しているため、津波などの緊急時には災害避難先として新市民体育館での受け入れを行う可能性も考えられます。受け入れの検討・調整など、お互いに連携し合える関係づくりを図っていくことが重要です





浦添市

令和2年 7月

〒901-2501

沖縄県浦添市安波茶一丁目1番1号

電話番号：098-876-1234